

スペイン社と欧市場開拓

ハルナビバレッジ 茶飲料を拡販

中長計策定

【前橋】ハルナビバレッジ（群馬県高崎市、青木麻生社長、027・387・0101）は、2026年3月期までの中長期経営計画を策定した。スペイン企業との協業により、欧州で需要開拓を

推進することなどが柱。創業30周年を迎える最終年度の目標として、売上高を19年3月期比27・3%増の300億円、経常利益を同2・17倍の9億円に引き上げる。

アライアンス戦略に

よって生産・販売の両面を強化する。国外ではスペイン企業と無糖・有機茶の商品開発や販売のプロシエクトで提携し、欧州市場の開拓に力を注ぐ。国内では、パートナー企業との協業によって大型ベットの生産ラインの新設などのプロジェクトを計画している。

ワークライフバランスの実現に向けた人材政策にも取り組む。業務改革やIT活用を通じて1人当たりの生産性向上を図る。これにより時間外労働を減らす一方、有給休暇の取得率向上につなげ、25年度に取得率100%の実現を目指す。